

安全・安心ふくいプログラム 2023-2024 (概要版)

はじめに

- ・ 刑法犯認知件数は戦後最少を更新し、検挙率は高水準を維持するなど、県内の治安は良好に推移
- ・ 一方で、子ども・女性の安全を脅かす事案や高齢者を狙った特殊詐欺が後を絶たず、サイバー犯罪等の相談件数が増加、高齢運転者による交通死亡事故の割合が高いなど、対処すべき課題が多数存在
- ・ 北陸新幹線福井・敦賀開業等による交流人口の増加など環境の変化に対応し、安全で安心な福井を実現するため、本プログラムを策定

目的

安全で安心な福井の実現

期間

2023年度～2024年度

数値目標

重要犯罪の検挙率100パーセント
年間交通事故死者数20人以下

取組項目

※ 下線は新規・拡充する取組

第1 子ども、女性、高齢者を犯罪から守ります

- 【警察】・ 登下校時間帯における子どもの安全対策のため、通学路の重点的な警戒・パトロールや不審者情報等の共有・提供、見守り活動の拡大などを推進
- ・ ストーカー、DV事案等の被害者の安全を確保するため、行為者の検挙、被害者の安全確保等を徹底
 - ・ 高齢者の被害防止意識を高揚させるため、巡回連絡や出前講座等の直接的な防犯指導、関係機関・団体との連携による広報啓発活動やコールセンターを設置しての注意喚起などを推進
- 【県】・ 重点見守りデーの実施など通学路の危険箇所点検により、子どもの見守り活動を推進
- ・ 夕方の見守り運動協力店やドライブレコーダー搭載車による見守り協力者を拡大
 - ・ 児童相談所における利用者のプライバシー保護に配慮した相談室の配置や一時保護所における個室数の増加など、安全・安心に利用できる環境を整備
 - ・ DV・性暴力事案について、24時間365日の相談対応や、相談電話の通話料無料化など、被害者が相談しやすい環境を整備
 - ・ ケアマネジャー、スーパー、薬局等と連携し、高齢者の特殊詐欺防止等の見守り支援を推進

第2 犯罪の起きにくい社会をつくります

- 【警察】・ 県民の防犯力の向上や自主防犯活動に役立つ防犯情報等の発信、緊急発信機能・防犯活動記録機能等を備えた「県警アプリ」を開発・運用
- 【県】・ 防犯カメラや地域の危険箇所等のデジタルマップなど、防犯インフラの整備・支援をして、地域の自主防犯力を強化

第3 犯罪の取締りを強化します

- 【警察】・ 捜査支援システムの整備・活用や他の都道府県警察との連携による広域犯罪の取締り

第4 交通事故から県民を守ります

- 【警察】・ 企業講習等において効果的なデジタル交通安全教育を推進
- ・ 飲酒運転、あおり運転、著しい速度超過等の悪質・危険な違反に重点を置いた取締りを推進
 - ・ 交通関係協力団体等との連携による戸別訪問や高齢者が多数集まる会合等での安全運転に向けたアドバイスを実施
- 【県】・ 事業者と連携して、ドライバーの横断歩道における歩行者優先意識を徹底
- ・ 安全運転サポート車の購入や安全装置の後付けを支援し、高齢運転者に対して安全性の高い車の普及を促進
 - ・ 保険事業者等と連携して、自転車保険等の加入を促進

- ・ 講師のスキルアップ等交通安全教育の充実化や、反射材着用の促進により、歩行者の交通事故防止を推進
- ・ センターラインや外側線等の塗り替え、見通し確保のため防草対策を集中的に行い、道路環境整備を実施

第5 テロ、大規模災害等から県民を守ります

- 【警察】・ 原子力発電所の警戒警備、新幹線などの公共交通機関・不特定多数の者が集まる大規模集客施設等に対する安全対策を徹底
- ・ 大規模災害に備え、初動態勢の強化と装備資機材の充実
- 【県】・ 地震や大雨等の災害の前段階で、速やかな初動対応を実施すると共に、テロ事案等の発生に備えた図上訓練を実施

第6 サイバー犯罪から県民を守ります

- 【警察】・ 被害の防止や規範意識の向上のため、サイバー防犯ボランティアと連携した若年層に対する広報啓発活動を実施
- ・ 重要インフラ事業者等と連携し、サイバー攻撃の発生を想定した実践的な共同対処訓練や立入検査を実施
- 【県】・ スマートフォン等の安全利用に関する啓発を行い、家庭における安全なインターネット利用を促進
- ・ 県内企業・団体を対象とした研修会の実施や、県内の病院に対する実地調査などによりサイバーセキュリティ対策の重要性を周知

第7 治安基盤を強化します

- 【警察】・ 治安上の課題や情勢の変化に対応した組織体制の強化
- ・ 新幹線駅周辺エリアの交番や鉄道警察隊の事務所等の警察施設を整備
- 【県】・ 市町や民間支援団体と連携したきめ細やかな犯罪被害者等支援を推進

北陸新幹線福井・敦賀開業等を見据えた主な取組

- 【警察】・ 新たに設置した地域機動警察隊による治安情勢の変化に応じたパトロールを推進するとともに、鉄道における犯罪防止等に向け、鉄道警察隊の体制を強化
- ・ 新幹線駅周辺エリアの交番や鉄道警察隊の事務所等の警察施設を整備（再掲）
 - ・ 県民の防犯力の向上や自主防犯活動に役立つ防犯情報等の発信、緊急発信機能や防犯活動記録機能等を備えた「県警アプリ」を開発・運用（再掲）
 - ・ 交流人口等の増加を見据え、交通安全施設の整備などにより、交通事故防止を推進
- 【県】・ 防犯カメラなどの防犯インフラの整備・支援をして、地域の自主防犯力を強化（再掲）
- ・ センターラインや外側線等の塗り替え、見通し確保のため防草対策を集中的に行い、道路環境整備を実施（再掲）